

## 第2回徳島新時代における防災情報発信検討会 質疑録

- 1 日時 令和5年9月13日(水) 午後3時30分から午後5時まで
- 2 会場 万代庁舎 11階 1104会議室
- 3 出席者 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 金井委員  
四国大学 経営情報学部 山本委員  
四国放送株式会社 取締役報道制作局長 武知委員  
株式会社エフエム徳島 営業部長 浜野委員  
西日本電信電話株式会社 徳島支店 担当部長 門屋様(代理)  
国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所 流域治水課長 道谷委員  
気象庁徳島地方气象台 地域防災官 宮本委員  
徳島市危機管理局 次長 吉田委員  
美波町消防防災課 課長 前野委員  
徳島県経営戦略部 秘書課 県政広報幹 玉岡委員  
徳島県県土整備部 道路整備課 課長 杉本委員  
徳島県県土整備部 河川整備課 課長 披田委員  
徳島県県土整備部 砂防・気候防災課 課長 森野委員  
徳島県危機管理環境部 平井部長  
徳島県危機管理環境部 森副部長  
徳島県危機管理環境部 佐藤次長  
徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課 鈴江課長  
徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課 加藤副課長  
徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課 横山課長補佐  
徳島県危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課 中野

### 4. 質疑応答

#### (1) 広報媒体別の情報発信(資料1)

##### (A 委員)

- ・LINE が非常に使いやすいので有効。
- ・X の登録者数が少ない。(画像や動画を埋め込んだ方が良い。)

##### (事務局)

- ・県公式 X の登録者数は1.6万人。

##### (B 委員)

- ・LINE に登録しているが、情報がいっぱい来てもあまり見ない。
- ・例えば河川の情報等で、危険度がアプリ等で分かるようなものがあれば良い。  
(発信情報で危機感が伝わるようなものがあれば良い。)

##### (事務局)

- ・河川の警戒レベルの文章(案)は後程説明させてもらう。

##### (C 委員)

- ・SNS への情報発信が手動で行われている事の改善が期待される所。
- ・LINE の文章について、平常時は短い文章が良いが、災害時は長い文章が良い。
- ・SNS の閲覧者がどれほどいるのかというのが悩ましい所。

- ・LINEの登録者数をもっと増やすべきである。  
(少なくとも5万人は定着するように努力すべき。)

(事務局)

- ・重々承知しており、さらに増やしていかなければならない。

(D委員)

- ・県の情報発信の体制を知りたい。

(事務局)

- ・「(資料1) 広報媒体別の情報発信(1/2)」は、  
危機管理環境部とくしまゼロ作戦課が主に発信し、  
「(資料1) 広報媒体別の情報発信(2/2)」は、県土整備部が発信している。

(2) 情報発信のタイミングと内容(資料2)

(E委員)

- ・情報発信のタイミングについて、夜間の場合にはどのように検討されているのか。

(事務局)

- ・基本は避難行動を起こしていただく事を前提に、日中で日没3時間前までに  
発信している。  
夜中でも緊急時は発信させていただく予定。

(E委員)

- ・夜中の場合、発信タイミングを協議で決めているのか。

(事務局)

- ・基本的には内部で協議した上で発信している。予めルール作りが出来ていれば良い。

(F委員)

- ・突発的な災害発生時の情報発信の指針みたいなものを決めてもらえたら、  
市町村としても発信しやすい。(早朝時の対応等)

(事務局)

- ・時間帯と重要性によって、情報発信をするタイミングを検討する必要がある。

(G委員)

- ・発生場所と影響範囲と時間帯によって、情報発信の内容とタイミングに苦慮している。  
ルール作りが出来たら良い。

(事務局)

- ・LINEとすだちくんメールは地域を限定した情報発信が可能。  
プッシュ型で最新情報のあるHPアドレスを伝え、その後はプル型のHPで情報を  
得てもらうなど、プッシュ型とプル型を融合させた情報発信も一つの方法である。

(C委員)

- ・ローカルな地域情報を市町村から取得出来るように誘導する等出来たら良い。

(事務局)

- ・一つの方法として、県のHPに各市町村の防災情報のHPのリンク先を設け、  
そこから市町村のHPへ飛ぶ等が考えられる。

(A委員)

- ・地震の時はどのような発信体制になっているのか。

(事務局)

- ・地震も基本的には他の災害と同じ体制である。  
・気象警報とか津波情報は、LINEやすだちくんメールで自動発信しているが、  
フェイスブックとXは手動で行っているので今後自動化していく。

(A 委員)

- ・普段は常駐している職員はいるのか。

(事務局)

- ・非常勤で夜間の常駐者は1名いる。
- ・災害が起きれば、対応班が出てきて情報発信を行う。

(B 委員)

- ・8月14日14時35分に波浪警報が出た後に、記事に暴風・大雨洪水・土砂警が掲載されていないが。

(事務局)

- ・波浪警報が出たので、避難が最優先という事を分かりやすいようにした。

(B 委員)

- ・8月14日の徳島市に出た暴風警報などの情報は大事だと思う。

(事務局)

- ・暴風警報と土砂警は自動でLINEに発信される。

(B 委員)

- ・文言も出来ればスクロールしなくて見れるぐらいの簡潔な文章が良い。
- ・警報が発表中であれば、LINEのメッセージの中で一番上に赤で表示されて、発表中とかでも良いと思う。
- ・資料の発信内容を見ると、テレビで出す情報が少ないと思う。県庁と連携しながらテレビでも情報を出せたら良い。

(3) 水位情報等の発信内容 (資料3)

(F 委員)

- ・県の情報発信の中で、徳島市のHPに飛んで、市からの情報を取れる仕組みを検討会で議論してほしい。
- ・県のHPで市町村と連携しながら、県民向けの情報発信をしてほしい。
- ・園瀬川に堤防が整備されているが、山上水位観測所の避難判断水位の変更はいつ頃になりそうか。

(H 委員)

- ・まだ園瀬川の堤防が整備されたばかりなので、ここではお答えできない。

(F 委員)

- ・徳島市では緊急情報ポータルページを作っているなので、そこに誘導してほしい。
- ・新旧対照表のAfterの部分について、もう少し情報を整理したものを発信すれば、県民に分かりやすい情報発信が出来ると思っている。

(H 委員)

- ・水防情報システムに市町村の防災ページを入れるかは検討する。
- ・園瀬川の話は、別途お話をさせていただく。

(I 委員)

- ・市町村のHPという話だったが、災害時にHPを作成する余裕がない状況。

(B 委員)

- ・資料3-1に市町村からの避難情報を確認するとともに、と書いてあるので、やはり市町村のHPへのリンクはあった方が良い。
- ・情報は1つの所にある程度纏まっていた方が、県民も情報にたどり着きやすい。

(事務局)

- ・安心とくしまHPに来れば、一元的な入口になるというようなことをめざしたい。

(F 委員)

- ・自治体としてはダムの放流量等の数字があった方がありがたい。
- ・緊急放流の際のリードタイムの設定について知りたい。  
この情報を受けて、避難のタイミングまでのリードタイムってどのくらいあるのか。  
判断水位から避難指示までのリードタイムを見誤ったがゆえに、  
逃げられるタイミングを逃した事がある。河川毎に異なると思うが。

(H 委員)

- ・避難判断水位から実際浸かる所までは大体2時間、  
氾濫から終わる所までは1時間程度見ている。  
河川によって異なるが、一般的にはそれくらいを見ている。  
水位の上昇速度では、過去1番早い分で換算している。

(F 委員)

- ・緊急放流と気象の状況を考えた場合は、即避難指示に移った方が良い事が分かったので、  
今後の検討課題にさせていただきたい。

(H 課長)

- ・ダムの放流量は必要か不要か。

(J 委員)

- ・一部の社会福祉施設では、ダムの放流量を避難の目安にしている所もあるのであった方が  
良い。

(E 委員)

- ・発信する情報に動画や写真を差し込む事は出来るのか。

(H 委員)

- ・現段階では、全てのダムにカメラが付いているわけでもないので、  
全ての部分に対応するのは難しい。

(J 委員)

- ・技術的には可能か。

(H 委員)

- ・水位は可能。

(事務局)

- ・水位と河川の状況は youtube で見えるはず。

(H 委員)

- ・ダムは全てのダムにカメラが付いている状況ではないので、  
出来るところと出来ないところがある。

(E 委員)

- ・ダムについては下流に住んでいる人は上流の事が分からない。  
youtube だと自分で見に行かないといけない。  
例えば LINE に写真が付いていれば良いなと思う。短い動画でも良い。

(G 委員)

- ・被災地の状況が分かるように、X で写真を一枚入れたいと思っている。
- ・リンク先は X の中で多数書くか、リンク先の HP でもう1回リンク先を書くかは  
悩んでいるところ。  
HP でリンク先を一元集約して、そこからリンク先へ飛んでもらう必要が  
あるのではと思う。

(J 委員)

- ・一般的には3クリックまでと言われている。

(A 委員)

- X のいいところはリポスト。

いかに目立つか、いかに拡散したくなるかと人に思わせる事が大事。

(J 委員)

- 写真や動画を貼り付けるのは、X が一番良いのか。

(A 委員)

- 結構スペースを取るので目立つと思う。

(C 委員)

- トップページからダムの水位を見る時に、間違ったダムを見る事はないか。

(H 委員)

- 関心がある人は、地図上のダムの位置はお分かりになると思う。

(4) 徳島県防災ポータルサイト「安心とくしま」(資料4)

- 意見なし

(5) その他

- 第1回検討会でのご意見(参考資料1)

意見なし

- 徳島県公式 SNS 登録キャンペーンの状況(参考資料2)

意見なし

- 県民目線に立った防災情報発信の充実強化(参考資料3)

意見なし